

# 1月例会は『オーケストラ!』

## 2010年映画ベストテンに投票ください

### 新年、明けましておめでとうございます

会員の皆さんには、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。新年は、多くの方が良い映画を観るなど、心豊かな生活の時間を持つ年となるよう祈念します。

さて、世間の空気が不景気と閉塞感に包まれる中、2年前からの会員数の減少により、この会の運営が困難になっていました。その中で、皆さんにクチコミやチラシを配っていただいたおかげもあって、会員数の減少に歯止めがかかり現在の会員数は173人です。しかし、安定して運営できる200人くらいにならないとまだまだ厳しい状態が続いていることには変わりありません。今後とも、ご支援よろしくお願いいたします。

この会は2002年5月に設立しました。つまり、今年の後半から来年の前半にかけて10周年の活動期間になるわけです。運営委員会の中でも、何か行事を行いたいと意見が出るのですが、経費や人的に余裕があまり無いので、規模の大きなことはできない状況です。それでもオモシロイ企画があれば積極的に取り組んでみたいと考えています。運営委員会では、今夏に『レオニー』の上映会を検討しています。また、例会作品も1月に『オーケストラ』、3月の『春との旅』と、会員の年齢や好みに合いそうな作品を内容重視で選定していきます。今までなら時間や価格の制約で選定から外れてしまう作品でもありました。

また、会員の皆さんには、この会のPR、会場設営、受付、発送作業、運営委員会など、お手伝いいただきたいこともありますので、時間を割いていただける方はどうぞ協力いただきますようお願いいたします。

### 例会のお知らせ

■名称／第52回例会『オーケストラ!』

■日時／2011年1月25日(火) ①PM1:50～、②PM4:10～、③PM6:30～

■場所／加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ600m)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費

(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。



■タイトル／オーケストラ! (原題/Le Concert)

■監督／ラデュ・ミヘイレアニウ

■出演／アレクセイ・グシュコフ、メラニー・ロラン、フランソワ・ベルレアン、ミュウ・ミュウ、ドミトリー・ナザロフ、ヴァレリー・バリノフ、アンナ・カメンコヴァ、リオネル・アベランスキ、アレクサンドル・コミサロフ、ラムジー・ベディヤ

■データ／2009年、フランス、2時間4分、Blu-ray Disc

■ジャンル／ドラマ、コメディ、音楽

■解説／1980年、ロシア・ボリショイ交響楽団から多くのユダヤ人が連行され、それに反対した天才指揮者のアンドレイも楽団を解雇されてしまう。アンドレイはいつか復職する日を夢見て、30年にもわたり劇場清掃員として働いていたが、ある日パリのシャトレ座から送られてきた出演依頼を見つけ、偽のオーケストラを結成することを思いつく。主演はロシアの名優アレクセイ・グシコフ、共演に『イングリシアス・バスターズ』のメラニー・ロランほか。

### 2010年映画ベストテンに投票ください

昨年度に引き続き、「加古川シネマクラブ2010年映画ベストテン」を選ぶことになりました。

つきましては、会員の皆さんには、2010年に上映されていた映画について鑑賞した印象などをもとに投票いただきますようお願いいたします。

## 忘年会で選んだ2010年映画10選

12月14日、運営委員を中心とした年末恒例の忘年会を加古川駅前のホテルアゼリア2階の「和輝」で開きました。例年よりやや少なめの10名の参加で、それぞれの近況を話し合うなど楽しい時間を過ごしました。



また、恒例の2010年の映画ランキングを選んで楽しみました。映画ランキングは、多くの作品を見た人や声の大きい人の意見が優先されながらも、各人のオススメ作品はベストテン入りしましたので円満に決まりました。

渋い作品を好む人、やさしい作品を好む子、監督や出演者にこだわる人、作品のテーマを優先する人など、いろいろな人が話し合いましたが、全体に日本映画の粒がそろっていたようです。洋画については、この地域で上映される作品が、子供向けやSF大作に偏っているため、多様な作品を観る機会が少ないのですが、多くの作品を観た人の解説と意見が順位に強い影響を与えました。

まず、邦画は、基準作として『告白』からはじまり、『悪人』、『レオニー』、『おとうと』あたりをどうするかについて話し、以下の結果になりました。また、『パチャママの贈り物』は意外にかなり好評価でした。

余談ですが、『パチャママの贈り物』は南米ボリビアの映画と思っている人が多いのですが、映画は、資本を出している国が制作国になるということで、松下文監督が費用を工面して制作したこの作品は邦画となります。

洋画については、参加者のパワーが弱まったのか、観た作品の数が少なく会話が盛り上がりませんでした。『牛の鈴音』を退けて、『彼女が消えた浜辺』が1位となり、全体に渋いところが選ばれました。

このランキングを”忘年会で選んだ2010年映画10選”として紹介します。DVD鑑賞やテレビ放映を観るときの参考にしてください。

### 【邦画の部】

1位『レオニー』（監督/松井久子、主演/エミリー・モーティマー）、2位『悪人』（監督/李相日、主演/妻夫木聡）、3位『告白』（監督/中島哲也、主演/松たか子）、4位『キャタピラ』（監督/若松孝二、主演/寺島しのぶ）、5位『おとうと』（監督/山田洋次、主演/吉永小百合）、6位『春との旅』（監督/小林政広、主演/仲代達矢）、7位『ミツパチの羽音と地球の回転』（監督/鎌仲ひとみ、ドキュメンタリー）、8位『パチャママの贈り物』（監督/松下文、主演/クリスチャン・ワイグア）、9位『ACACIA-アカシア』（監督/辻仁成、主演/アントニオ猪木）、10位『今度は愛妻家』（監督/

行定勲、主演/豊川悦司)

### 【洋画の部】

1位『彼女が消えた浜辺』（イラン、監督/アスガー・ファルハディ、主演/ゴルシフテ・ファラハニ）、2位『牛の鈴音』（韓国、監督/イ・チュンニョル、主演/ドキュメンタリー）、3位『冬の小鳥』（韓国/フランス、監督/ウニー・ルコント、主演/キム・セロン）、4位『ずっとあなたを愛してる』（フランス、監督/フィリップ・クロードル、主演/クリスティン・スコット・トーマス）、5位『フロズン・リバー』（アメリカ、監督/コートニー・ハント、主演/メリッサ・レオ）、6位『カティンの森』（ポーランド、監督/アンジェイ・ワイダ、主演/マヤ・オスタシェフスカ）、7位『インビクタス/負けざる者たち』（アメリカ、監督/クリント・イーストウッド、主演/モーガン・フリーマン）、8位『オーケストラ!』（フランス、監督/ラデュ・ミヘイレアニユ、主演/アレクセイ・グシュコフ）、9位『ミックマック』（フランス、監督/ジャン=ピエール・ジュネ、主演/ダニー・ブーン）、10位『トイストーリー3』（アメリカ、監督/リー・アンクリッチ、アニメーション)

## 前回例会の報告

11月10日の例会では、明るく元気なヒューマン作品である『のんちゃんのり弁』を鑑賞しました。少し軽すぎるのではないかと心配していましたが、観終わった人からは、意外に良かったという好評価が多く、まずまずの成功といったところです。参加会員123人。

## その他の報告とお知らせ

また、2月15日(火)に、加古川総合文化センターで開催される『RAILWAYSレイルウェイズ』上映会に協力します。エリートサラリーマンが49歳で、こどもの頃の夢であった田舎の電車の運転士になった男の物語です。良い人ばかりが登場する心洗われる作品です。兵庫県映画センター主催で、上映開始時間は、午前10時30分と午後1時30分です。加古川シネマクラブ会員割引もあるので、まだご覧で無い方は、この機会に鑑賞ください。

## ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200~300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

**加古川シネマクラブ** 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL [cinemaclub@nifty.com](mailto:cinemaclub@nifty.com)

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 173 人 (11月18日現在)